事務事	業評価シート	【事後評価】									
会計	款 項 目	事業コード			事業名			成	果	指標の達成度の要因分析(成果指	標を設定しない場合は、その理由を記載)
01	06 01 05	164260	農村施設維持事業					施	設(の安全性の向上のために業務を行	うものであり、利用者数などで成果を測るのは困難である。
総合計画	分野 01 しごと	政策	04 観光の振興								
計画	施策 01 観光の態										
目的	農村施設の快適な利用	月及び観光客を対象	とに農畜産物の消費	拡大を図る	ための環境	整備					
対象	農村施設									公共関与の妥当性	・市が所有する施設であり、主体的に維持管理を実施する必要性がある。
意図	施設の長寿命化を図り)、施設利用者の安	全・安心を確保す	る				的妥当性		受当である 見直し余地がある	
事業概要	○自然休養村センター	-消防用設備設置業	務委託(繰越明許	費)2,090	千円			有效性	Б П	妥当でない 成果の向上余地 向上余地がある 向上余地がない	・大規模改修を行うことにより長寿命化が図られ、ある程度の補修の抑制 が期待できる。 -
									ь Е	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある ご どちらも削減余地がない	・現場の実態に合わせた工法等を検討しており、現場によっては代替性が 乏しいことから、削減の余地はない。また、限られた人員の中で現場等と の調整を図る必要性があり、人件費についても削減の余地はない。
市民参									3	受益と負担の適正化余地	・施設利用者の安全、安心の確保のために行う維持管理であることから適
市民協	働の形態 共催	実行委員会・協議	会事業協力・	協定	後援・協賛	補助・助	成 委託	公平	ΣĽ	受益機会の見直し余地がある	正である。
	活	動指標	単	单位 区分		R04	R05	性		費用負担の見直し余地がある	4
1				計画					+	○ 適正である 対防田設備を設置することに	┃ より、施設利用者の安全、安心を確保することができた。
				実績	į				1		57、加西東中部市自の文主、文心を開展がすることが、ことに。
2				計画	Î				全全 月のおい近い	· 	
2				実績	į				0	Ď.	
				計画	i				1)	が () () () () () () () () () () () () ()	
3				実績	į				j	<u> </u>	
	成	果指標	単	单位 区分	R03	R04	R05	総合評価			
				目標	į			一評	<u> </u>		
				実績	į			仙		h _r	
				目標	į				2至 居に向いて	Ž.	
2				実績	į				B	夏 こ	
				目標	į						
3				実績	į				١٤	ć	
最上	里指煙の達成度 .	日煙値より高	い - 畑	わ日樗値			上り低い		1		

成果指標の達成度

目標値より高い

事務事	業評価:	シート		事後評価】										
会計	款	項	目	事業コード					事業名			成	果指	標の達成度の
01	07	01	03	174320	観光	台イベント	開催事業	養				縮	小開	催や人数制
総合計画	分野	01 L	ノごと	政策	04	観光の振	興					(C)	対し参加	令和4年度 意欲・関心
計画	施策	01 蕉	見光の魅	力向上										
	地域資	源の保全	と魅力	アップを図るため	、ま	つりやイベ	ベントの	開催をす	支援する。					
目的														
	まつり・	やイベン	ノト											
対象												\Box	公	共関与の妥当
	まつり・	やイベン	ノトが守	られ魅力が向上す	る。							目的	0	妥当である
意図										妥当性		見直し余地		
	○まつ	h Zo	ジントの	問 從 奴弗 _	6.1	205手田						性		妥当でない
		つまつり、イベントの開催経費一部負担 64,295千円										,		果の向上余均
	1 ①南部 5 あん	南部杜氏の里まつり ②田瀬湖湖水まつり ③イーハトーブ音楽祭 ④石鳥谷夢まつり あんどんまつり ⑥イーハトーブフォーラム ⑦石鳥公まつり ⑧花巻まつり ⑨花巻まつり特産品									産品フェア	有効性	\circ	向上余地か
事業	⑩土沢	んどんまつり ⑥イーハトーブフォーラム ⑦石鳥谷まつり ⑧花巻まつり ⑨花巻まつり特産品フェ 尺まつり ⑪大迫ワインまつり ⑫わんこそば全日本大会 ⑬大迫・宿場の雛まつり									王朋 / エ /	催		向上余地か
概要														Me the state of the
												加		業費・人件費
												効率性		事業費の消
	<u> </u>											性	_	人件費の削 どちらも削
市民参		象外										\vdash	()	こりりもF 益と負担の近
有無	K					T		1		T		公		受益機会の
市民協	動の形態	共		ミ行委員会・協議会	会	事業協力			援・協賛	補助・助成		公平性		費用負担の
古怪	计负奴重	ヹ ノバ	店野 ント支援	为指標 ※団体物			単位	区分 計画	R03	R04 13. 00	R05	11		適正である
1 人 1 反 1 反	刈豕示事	₹ 、 / · \	ノド又扱	支凹1平数			団体		13. 00				Ť	3年ぶりに
\sqcup								実績	3. 00	13. 00			今	間があった
2								計画					今年度	た。 また、コロ
								実績					0	
3								計画					振り	
3								実績					返り	
			7,74-1	具指標			単位	区分	R03	R04	R05	総合評	 	
	対象祭事、イベントへの来場者数(年度)							目標	301, 500. 0	301, 500. 0		一評	\vdash	イベントへ
1							人	実績	150. 00	108, 439. 0		一個	l	来場者数增
								目標					次年	
2								実績					一度に向	
								目標					向	
3								実績					けて	
								■ フマルゼ						

概ね目標値どおり

目標値より低い

成	成果指標の達成度の要因分析(成果指標を設定しない場合は、その理由を記載)									
にす	小開催や人数制限を実施したイベン 対し令和4年度は予定した13件の 参加意欲・関心度が高いものと感じ	ノトがあるため、例年と同程度の来場者数には達していないが、前年度1件 ウイベントを開催できたことから大幅に来場者数が増加した。市民のイベン うられた。								
目的妥当性	公共関与の妥当性 ○ 妥当である 見直し余地がある 妥当でない	・まつりやイベント開催は民間主導で行われるべきものである。 ・まつり等を観光誘客の場として活用していることから、観光振興を図る ため行政による支援を行うものである。								
有効性	成果の向上余地 向上余地がある 向上余地がない	適切な助言を行うことにより魅力を向上させることができる。 								
効率性	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない	支援団体への負担金、補助金の額は、毎年十分に検討されたうえで、その 年の状況に応じた額が決定されており、削減の余地はない。								
公平性	受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある 適正である	まつりやイベントへの市民が参加する機会は平等に与えられている。								
総合評	今 間があったにも関わらず、感 た。	すべてを開催することができた。コロナ禍によりイベントができなかった期 染症対策を実施しながら開催いただいたイベント主催者の活動努力が見られ 新しい試みがなされているイベントも見受けられた。								
評価	イベントへの来場者数増加へ 来場者数増加により、イベン 次年度 に向けて	向け、主催者とともに集客や周知方法などを練っていく必要がある。 ト収支の向上・関連事業者の収益拡大を目指す。								
		観光イベント開催事業費 事務事業評価シート								

成果指標の達成度

目標値より高い

令和4				F t-11: →: 1											
	業評価	_		事後評価				-	丰米力			1 🗔	HI 41	松浦の生と皮のボロハゼ (4日本	編と31点 とい. 日人) ・ マ の701上と5742)
会計	款	項		事業コ			4. 46 44	-	事業名			-			標を設定しない場合は、その理由を記載)
01	07	01		1743		広域観光推進							T空 感	コロテワイルス感染症の感染が拡 染拡大の時期が長引いたことによ	大している時期は、観光客も広域での移動を控える傾向があったことからり、花巻・遠野・平泉エリアへの観光客入込数は、目標値を下回った。
総合 計画	分野	-	しごと		政策	04 観光の振	. 興					ļ `			
計画	施策		観光の魅]			
目的	市内へ	の誘答	で促進す	るため、広	広域的な	観光資源の組み	合わせ	による事	事業を展開す	⁻ る。					
ПнЭ															
対象	観光客														
刈氷													- 1	公共関与の妥当性	観光客入込みが伸び悩んでいる中、広域連携による旅行商品造成・観光P
	花巻を	訪れる	機会が広	がる								1 的	夕上	○ 妥当である	R等に必要な支援を行う必要がある。
意図												.		見直し余地がある	
	○釜石	線沿線	民広域エリ	ア活性化剤	5員会事	業支援 400千円						1 12	_	妥当でない	
	一 釜石	線沿線	地域の自	治体等と] 委員会への	I R東日:	本が連携して、	SL銀	河の運行	亍を軸とした	:観光PRを	行う釜石線			成果の向上余地	他地域との連携により観光地としての更なる魅力向上が見込まれる。
												自対	<u>,</u>	○ 向上余地がある 向上余地がない	
事業	○花巻 花巻	速型・读型	,・半泉観 ・平泉観	光推進協議 光推准協議	義会事業 議会が実	支援 600千円 施する広域的な	誘客へ	の取組を	を支援			性	ŧ		
概要	'	,	1 /34/96	, 21, 12, 13, 14,		32, 0,2, 3,1,3	. 10.2 12	- 10111	->			l ⊢	+	 事業費・人件費の削減余地	┃────────────────────────────────────
												対率		事業費の削減余地がある	会等での積極的なPR活動等により増加してきたため、これからの事業費を一旦見直す時期である。
												率	区 -	人件費の削減余地がある	- を一旦見直り時期である。
	<u> </u>											┨╎ [┄]	-	○ どちらも削減余地がない	
市民参		象外											1	受益と負担の適正化余地	観光振興は市全体が受益となる。
	··· 場働の形態	a ±	共催 写	実行委員会	• 協議会	ま 事業協力	· 協定	後‡	爰・協賛	補助・助品	戏 委託	- 公平	\ \ \ \ \	受益機会の見直し余地がある	
119 12 1/1/	11301071732	<u>^ /</u>		加指標	1333 H4X Z	4 事不顺/月	単位	区分	R03	R04	RO5	- 佐	ŧ	費用負担の見直し余地がある	
連携	통する他 同	 「						計画	6. 00	5. 00		1 L	4	○ 適正である	
1							団体	実績	6. 00	5. 00		11		エハロコモのトュールリルバ	秀客キャンペーンがコロナ禍により実施できなかったが、釜石線沿線でのS 可能な範囲で現状に合わせた取り組みを実施した。
								計画				11	- 1:	フ 年	THE OPEN THE PROPERTY COMES TO
2								実績				┧╽	-	·度 の	
								計画				┨		振	
3								実績				$\{\ \}$		- 振り返り	
			845	1 44× 4mi			お任		DOO	DO 4	DOF	\$42	2	9	
广拓	1 (花卷,	造形		早指標 見光客入込	粉 <i>(</i> 麻白	F)	単位	区分 目標	R03 587. 20	R04 486. 10	R05	総合評価	2		
1	(ULE	逐刊	17八 再		致 ()自当	-)	万人			1		評	平 肝	6月にSL銀河の運行が終了する 観光季亜は回復傾向となっても	「ることから、それを惜しむSL関連客数の増加を見込む。 5り、関係する自治体及び機関と連携した更なる誘客関連事業の推進・強化
_								実績	294. 00	423. 30		↓ ‴	- I	次を図る。	5人、因所する自信件及り版例と定形した文本の助音例是事業の正定 国代
2								目標				1	- 1	度	
								実績]		に 向 け	
2								目標						け	
٥								実績						て	

概ね目標値どおり

成果指標の達成度

目標値より高い

令和4年		1		『 古 公 志 / 元	,										
事務事 会計	業評価:	ンート 項	ТВ	【事後評価事業コー				J	事業名			成	里华		標を設定しない場合は、その理由を記載)
01	07	01	03	17438	•	観光施設維持事	事業費		尹术仏			l			で施設の長寿命化を図り、継続した観光施設の維持保全ができた。
_	分野	01	しごと		政策	04 観光の振									
総合 計画	施策		観光の魅			1000									
目的					施設の	調査・改修等を	行う。								
対象	観光施	設												共関与の妥当性	・市が所有する施設であり、主体的に維持管理を実施する必要性がある。
意図	施設を	適切に	維持管理	し、施設の	長寿命	化と、利用者の	安全・	安心を確	確保する			的妥当性		妥当である 見直し余地がある 妥当でない	
事業概要	○花巻	市交流	会館屋上	段修繕 9,2 空調設備改修 防水業務委託	修工事	基本設計業委託	990=	千円				有効性	成	安ヨでない 果の向上余地 向上余地がある 向上余地がない	・大規模改修を行うことにより長寿命化が図られ、ある程度の補修の抑制が期待できる。
概安												効率性		業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある どちらも削減余地がない	・現場の実態に合わせた工法等を検討しており、現場によっては代替性が 乏しいことから、削減の余地はない。また、限られた人員の中で現場等と の調整を図る必要性があり、人件費についても削減の余地はない。
市民参	無											公公		益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある	・施設利用者の安全、安心の確保のために行う維持管理であることから適 正である。
市民協	働の形態	其 井		実行委員会・ 助指標	協議会	事業協力	協定単位	【 】 後担 【 区分	援・協賛 RO3	補助・助原 RO4	成 委託 RO5	公平性	\vdash	費用負担の見直し余地がある	
観光 1	だ施設の大	、規模(f		多計画策定及	び再材	倹討等	件	計画実績	1. 00 0. 00	1. 00	1100		С	一手に正めた ぬゲナイこう コルベーゼ	 ことで、来訪者及び利用者の安心安全に繋がった。 振歌の長寿命化も期待される
2								計画実績	0.00	0.00			今年度の		世民文文大学 中口 口が打す こすいる。
3								計画					- 振り返り		
				早指標			単位	区分	R03	R04	R05	総合評	b		
観光	产施設の維	註持修約	善件数					目標	30.00	20.00				計画的に衣法へ始の民上防业な	P行うことで 今後も利田者が継続的に使うことができる施設として維持す

実績

目標 実績 目標 実績

概ね目標値どおり

20.00

21.00

目標値より低い

次年度に向けて

計画的に交流会館の屋上防水を行うことで、今後も利用者が継続的に使うことができる施設として維持することが可能である。

事務事業評価シート 【事後評価】 項 目 事業コード 事業名 道の駅「石鳥谷」施設再編事業費 01 07 01 03 174410 分野 01 しごと 政策 04 観光の振興 総合 計画 施策 01 観光の魅力向上 道の駅「石鳥谷」の施設の魅力向上、利便性の向上を図るため、施設の再編を行う。 目的 道の駅利用者(国内観光客、インバウンド、自動車利用者、市民等) 対象 交流人口の拡大、賑わいの創出を図る。 意図 ○地域振興施設の工事 71,554千円(うち繰越明許費38,675千円) りんどう亭大食堂屋根改修、南部杜氏伝承館展示改修(R3繰越明許)
 ○外構部の工事等 103,867千円 南側駐車場舗装及び広場舗装等、外灯及び身障者駐車場新築、EV用急速充電器設置、喫煙所設置等
 ○移設・撤去等 13,926千円 農産物直売所解体及び下屋増設、物置移設、旧せせらぎ散策路自然石等撤去
 ○国や関係機関・団体との協議、共通経費 134千円

市民参画の 無し

137/1		1		T	
市民協働の形態 共催 実行委員会・協議会 事業情			爰・協賛	補助・助成	委託 委託
活動指標	単位	区分	R03	R04	R05
地域振興施設の工事の実施		計画	1. 00	1. 00	
	口	実績	1. 00	1. 00	
外構部の工事等の実施		計画	1. 00	1. 00	
	□	実績	1. 00	1. 00	
3		計画			
3		実績			
成果指標	単位	区分	R03	R04	R05
1		目標			
		実績			
		目標			
2		実績			
		目標			
3		実績			
成果指標の達成度 - 目標値より高い -	概ね目	標値ど:	おり -	目標値よ	り低い

渚/									
 , 	道の駅「石鳥谷」は、国(国土交通省)が所管するトイレ休憩施設(情報提供施設兼ねる)、駐車場(国所管分 、市が所管する地域振興施設(南部杜氏伝承館、酒匠館(産直含む)、りんどう亭大食堂など)で構成する施 設である。								
国や	と市が	がそれぞれ所管する施設の整備・ ハの創出については、施設再編	や改修を連携しながら進めているが、成果として期待する交流人口の拡大 の途中であり、事業完了後にしか検証出来ないため、成果指標は設定して						
[(')	ない。								
	公共	 共関与の妥当性	道の駅は公共施設で構成しており、施設管理者(市)が関与するのは妥当						
目的	0	妥当である	である。						
妥当性		見直し余地がある							
性		妥当でない							
	成界	早の向上余地	道の駅の施設再編を行うことは施設の魅力向上、利便性の向上が期待できることから、成果の向上余地がある。						
有	0	向上余地がある	ることから、放果の同上余地がある。						
有効性		向上余地がない							
L									
	事業	養費・人件費の削減余地	最低限の予算を見積もったところであり、事業費削減の余地はない。						
効率性		事業費の削減余地がある	また、従事職員も最低限の職員で対応しており、人件費の削減余地が無い						
性		人件費の削減余地がある							
	\circ	どちらも削減余地がない							
١.,	受益	益と負担の適正化余地	道の駅という公共施設の再編に係る事業であり、施設管理者の責任で行う ものであるため、受益と負担の見直し余地は無い。						
公平		受益機会の見直し余地がある	ものであるため、文金と貝担の兄直し赤地は無い。						
性		費用負担の見直し余地がある							
	0	適正である							
総合評	の	修工事を実施のほか、外構部の場新築工事、EV用急速充電器物質表示解体及び下屋増設・物	南部杜氏伝承館展示改修業務(R3繰越明許)、りんどう亭大食堂屋根改 の工事等として、南側駐車場舗装及び広場舗装等工事、外灯及び身障者駐車 器設置業務、喫煙所設置業務等を実施。また、外構部の工事に先立ち、農産 別置移設、旧せせらぎ散策路自然石の撤去を実施した。 場舗装工事、仮設通路復旧業務、立ち食いそば屋の移設撤去について、市の けしている国の駐車場改良舗装工事が年度を超える影響から、令和5年度へ とした。						
評価	次年度に向けて	令和4年度から繰り越した工事。 また、道の駅「石鳥谷」の市及 年の記念を兼ねてリニューアル	及び業務委託について、引き続き国と連携しながら着実に実施する。 2び国による地域振興施設や外構部の工事の完成に伴い、道の駅開所30周 記念式典を開催する。(令和5年7月15日開催予定)						

成里指標の達成度の再用分析(成里指標を設定したい提合は、その理由を記載)

事務	事業評	価:	シート		【事後評价	 面】								
会計	十一款	(項	目	事業コ	ード					事業名			
01	0	7	01	03	1744	140	観光	物産事業	業者等緊	≷急対策	事業費			
総合		野	01 L	ごと		政策	04	観光の振	興					
計画	施施	策	01 御	見光の鬼	步力向上									
目自	新型コロナウイルス感染症の影響により経営に深刻な影響を受けている観光関連事業者を支援するため、 目的 誘客に資する事業を行う。													
対象		光客												
意図	図 を位	内外から観光客を誘引することで、観光事業者はもちろん宿泊・交通・物産・飲食等の観光関連事業者 広く支援しようとするもの。												
事業概要	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	記泉方 京切 成料 京 料 京 料 京 料 京 料 京 料 京 料 了 、 大 料 方 、 大 月 大 月 大 月 大 月 大 月 大 月 大 月 大 月 大 月 大	音温では 音温では 海の 海の 海の 海の 海の 海の 海の 海の	登等利用等 会施選等 会 会 と と と と と と と と き と き き き き き き き き	別促進事業 経の利用者 対援緊急な 受けて対策 受けている で受けている	226, 42 (県民) (県民) 対策交付 (を (((((((((((((((((5千円9 を金 本 第 5,03 温 温 第 6,03	(繰越執i 象に利用料 3,040千円 養者を対象 0千円 富泊施設等	〒47, 28 た助成 に、事 にな対象	9千円+5 業継続な に、事	見年執行179 を支援 業継続を支持), 136千円)		
	参画の 有無													
市民	協働の	形態	共任		実行委員会	協議会		事業協力			援・協賛	補助・助品	·	委託
<u> </u>	15.2.7	活動指標						単位	区分	R03	R04	H	R05	
	支援を行う温泉宿泊施設等 1						簡所	計画	34. 00	36. 00				
									四//1	実績	37. 00	37. 00		
													. –	

市	民協働の形態 共催 実行委員会・協議会 事業								・協定	後担	爰・協賛	補助・助尿	委託 委託
	-			活	動指標				単位	区分	R03	R04	R05
1	支援を行う温泉	泉宿泊	白施討	分等					箇所	計画	34. 00	36. 00	
1									固別	実績	37. 00	37. 00	
2										計画			
										実績			
3										計画			
3										実績			
				成	果指標				単位	区分	R03	R04	R05
1	観光客入込数	(暦年	丰)						千人	目標	2, 106. 00	2, 076. 00	
1									1八	実績	1, 098. 70	1, 574. 00	
2										目標			
2										実績			
2										目標			
3										実績			
	成果指標の達	成度	-		目標値より高い				概ね目	標値ど	おり 〇	目標値よ	り低い

成	成果指標の達成度の要因分析(成果指標を設定しない場合は、その理由を記載)									
コロ	コロナ禍に加え、燃料高騰などの影響を受けた観光事業者を支援する事業を行ったが、イベント等の規模縮小で									
の	開催·	や海外からの渡航制限などの要[因により、成果指標の達成に至らなかった。							
H	<i>1</i> /\-{		事業の実施により誘客促進が図られ、事業者への経済的な支援となること							
目的		妥当である	が目される。							
的妥当:		見直し余地がある								
単性		妥当でない								
177	rt: F		古巻の字故によれ。マは							
 =	放き	果の向上余地	事業の実施にあたっては、花巻観光協会や温泉宿泊施設等関係者の意見も 随時聴取しながら、時宜を捉えて状況に応じ展開する。							
有効性		向上余地がある								
性		向上余地がない								
<u> </u>		I A C COVE ~ HE JU 1 HE AU								
	事美	業費・人件費の削減余地	事業立てにあたっては、関係者からの意見等も踏まえながら事業費や人件 費を精査しており、いずれも削減余地はない。							
効率		事業費の削減余地がある	資産相互のでものが、V・9年10日的成本地はない。							
性		人件費の削減余地がある								
	\circ	どちらも削減余地がない								
	受益	益と負担の適正化余地	観光振興は観光客・観光事業者はもちろん、宿泊・交通・物産・飲食事業							
公平性		受益機会の見直し余地がある	者等、受益者は多岐にわたる。 							
性		費用負担の見直し余地がある								
	0	適正である								
		コロナ禍に加え、燃料等の高騰	は、観光関連事業者の経営に影響を与えたが、国や県の施策や感染症の拡							
	今年	大状況を見極めながら、市にお の観光客入込数は、令和3年を	3いて事業者への支援を実施したことにより、事業継続が図られ、令和4年							
	年度	の戦化母八匹数は、17相3年で								
	O									
	振り返									
	り									
4/15	り									
総合評										
評		観光需要は回復に転じてきてい	いるが、新型コロナウイルス感染症に加え、原油価格・物価高騰が続いてい							
価		ることから、引き続き、観光関	国連事業者の意見や状況を随時聴取しながら、必要な施策を実施する。							
	全									
	度									
	次年度に向け									
	て									

事務事	業評価	シート		【事後評価】						
会計	款	項	目	事業コード			-	事業名		
				174470	イベント	開催時感染症	Ē対策支	援事業費		
総合 計画	分野	01	しごと	政策	04 観光	光の振興				
計画	施策	01 1	観光の魅	力向上						
目的										
対象										
意図										
事業概要										
市民参有無	無									
市民協	働の形態	共		ミ行委員会・協議会	き 事業	Ě協力・協定		爰・協賛	補助・助	
_			店男	力指標		単位	区分計画	R03	R04	R05
1							実績			
\vdash										
2							計画実績		1	
							計画			
3							実績			
			战里	 !指標		単位	区分	R03	R04	R05
			以不	ソロ7 本		平山	目標	1.00	NO4	100
1							実績		1	
							目標			
2							実績			
							目標			
3							実績			
成	果指標の	達成度		目標値より高い	<u></u>	概ね目	標値ど	おり	目標値。	より低い

成身	長指	標の達成度の要因分析(成果指標	票を設定しない場合は、その理由を記載)
目	公共	共関与の妥当性	
的		妥当である	
女		見直し余地がある	
目的妥当性		妥当でない	
	战	果の向上余地	
有	19/4/	向上余地がある	
有効性		向上余地がない	
性		円上赤地かない	
		Id A \$-Qay c etc. N . 1 etc.	
÷1.	事	業費・人件費の削減余地	
知		事業費の削減余地がある	
効率 性		人件費の削減余地がある	
		どちらも削減余地がない	
	受益	益と負担の適正化余地	
公		受益機会の見直し余地がある	
公平性		費用負担の見直し余地がある	
1-1-		適正である	
-			
	今		
	年		
	度		
	振		
	5		
	今年度の振り返り		
総			
総合評価			
品			
	次		
	年		
	浸に		
	向		
	次年度に向けて		
	ر		
	1		